



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。 ※内は、ロットNo.表示位置を示します。

### ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ▲注意

- 本製品は、複層ガラスを使用した場合製品重量が最大18kgとなります。施工は対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
- 下枠が垂下がり、障子が落下するおそれがありますので下記事項をお守りください。
  - ・必ず45×100mm以上の窓台（敷居）・30mm厚以上の間柱（ピッチ500mm以下）で開口部を作ってください。
  - ・指定のスクリーナ釘・木ねじで枠を固定してください。
  - ・開口部を付け枠などでふかす（調整する）場合は、一体物と同じ強度になるように取付けてください。
- 漏水防止のため、下記事項をお守りください。
  - ・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ（別売り）を張ってください。防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。
  - ・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。

### ■取付け上のお願

- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶついたりこすったりしないでください。
- 樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたりねじが貫通したりするおそれがあります。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。

### ■ねじ一覧表

①	②	③
スクリーナ釘φ2.1×32	皿木ねじφ3.1×20	ナベ小ねじ ワッシャー付きM4×10

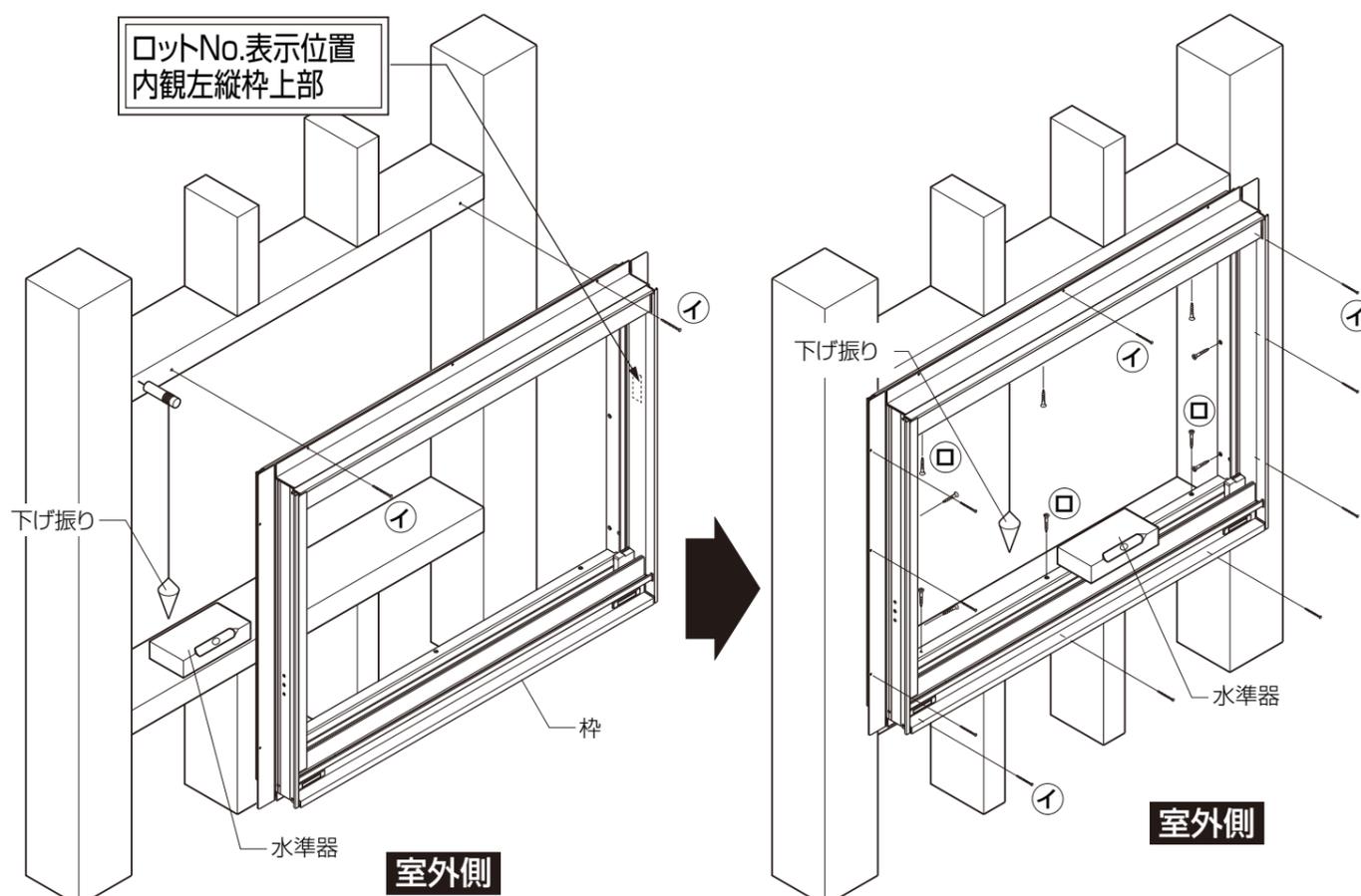
### ■取付け順序

#### 1 枠の仮止め

- 開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。

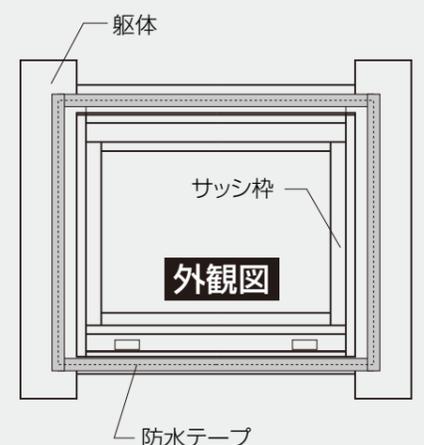
#### 2 枠の調整と固定

- 下げ振り・水準器で枠のねじれ・たおれ・ゆがみを直した後、固定します。



### ▲注意

- 本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ（別売り）を張ってください。



### ▲注意

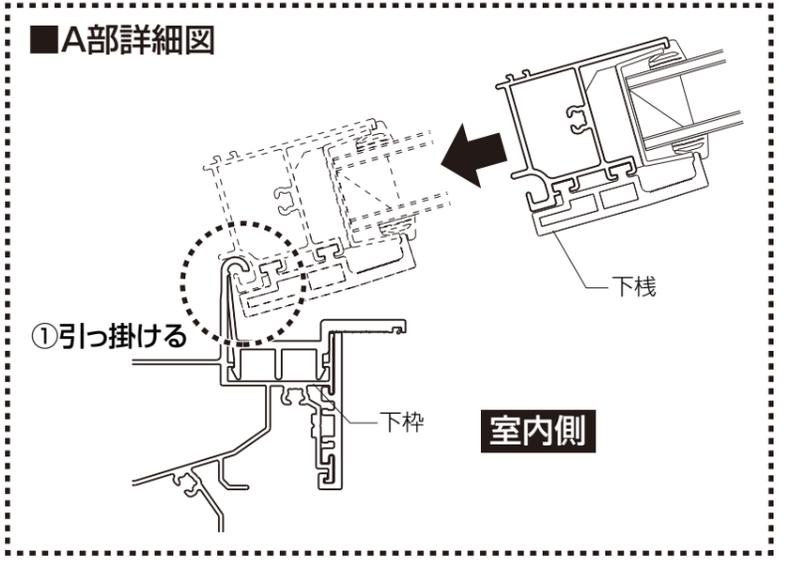
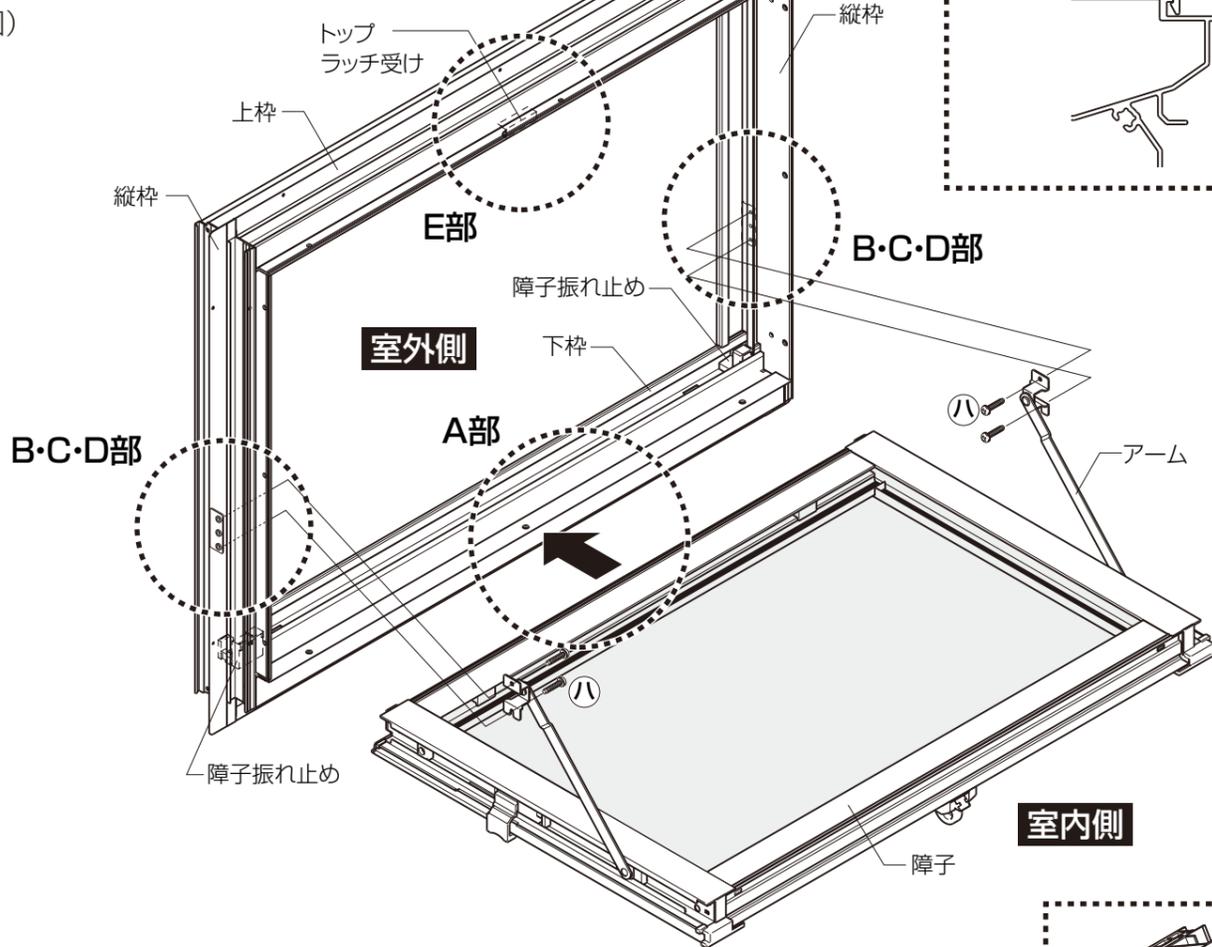
- 枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。

### 3 障子の取付け

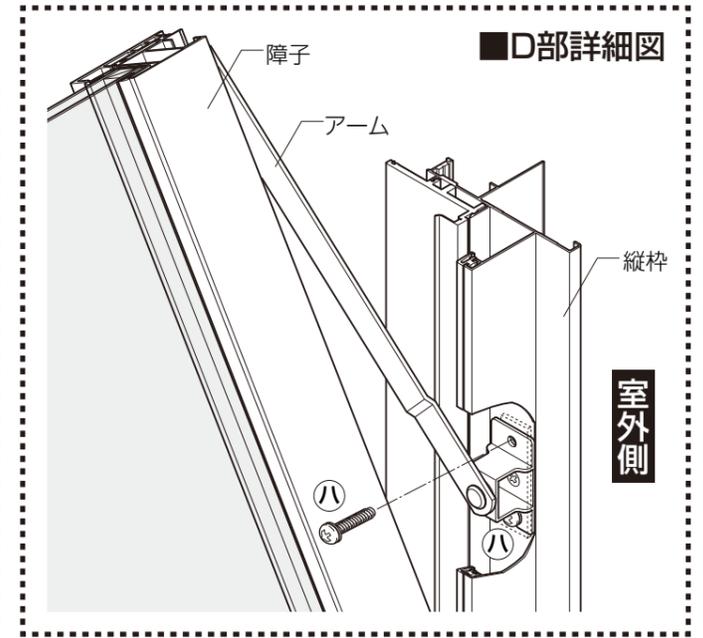
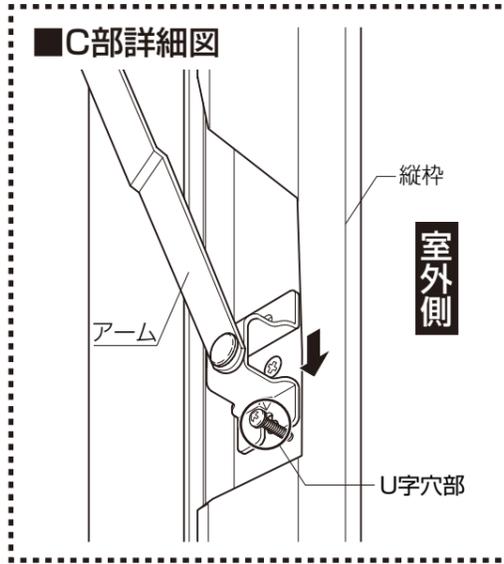
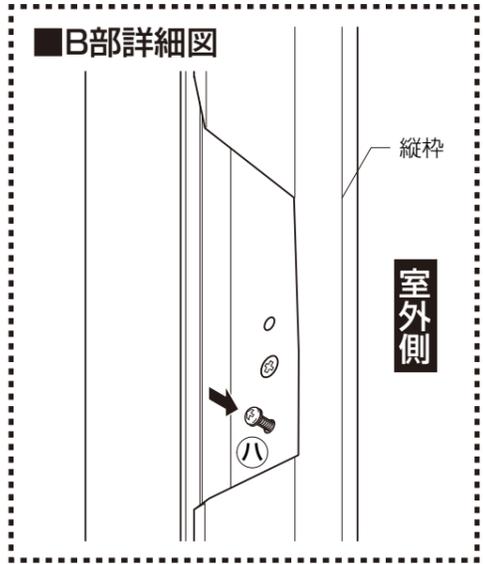
#### 【現場で障子を取付ける場合】

※逆の手順で障子を取外せます。

- ① 室外側を上にして障子を寝かせ、下棧を下枠にはめ込みます。(A部詳細図)
- ② 下枠両端に付いている障子振れ止めの間に障子が入っていることを確認し、障子を起こします。
- ③ 取付けねじ1本を左右縦枠の取付け穴(下側)に途中(半分)まで取付けます。(B部詳細図)
- ④ アームの取付け座U字穴部を縦枠に取付けたねじに引っ掛けます。(C部詳細図)
- ⑤ アーム取付けねじ4本をすべて固定します。(D部詳細図)



**▲ 注意**  
 ※ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$   
 $\{25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}\}$ のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。



### 4 トップラッチ受けの調整

- トップラッチがトップラッチ受けに掛からない場合、又は建込んだ障子がガタつく場合は、トップラッチ受けの取付けねじをゆるめて位置を調整し、取付けねじを締直します。(E部詳細図)

